

大館の歴史散歩

泉 ①

大館には古い泉が数多く見られます。この中から市役所内「史跡探訪会」が調査した「泉」を今回からシリーズで紹介します。

泉を訪ねて

現在までの研究成果から、大館地方に「ヒト」が住み始めたのも古くも古い痕跡は、およそ八千年ほど前の縄文時代早期であることが確認されている。今後、研究が進むと一万年以前(洪積世)のヒトの生活跡(旧石器時代とも先石器時代とも呼び、土器をまだ知らない人びとの残した文化)が確認される可能性は高い。

せないものであったが、縄文人にとっては外にも重要な意味をもっていた。その一つは、当時の重要な食糧であったドングリ類やトチのアク抜き作業である。荒割りした実や砕いた実を、多量の水にさらしてアク抜きし、デンプン粉をつくるのである。動物を追い求める姿ばかりが強調される縄文人の生活であるが、現在の研究では、日常生活は堅果類や地下茎、球根類など植物を中心とした食生活であったと考えられている。

米づくりの生活が定着し、開発が進められ新しいムラがつくられるようになってからも、人びとはやはり泉を中心に寄り集った。泉のない場所では沢水を引いたり、井戸を掘ったりしたが、その労力は泉に比べると大きな負担であった。泉はムラのセンターであり、泉の管理はムラ全体の問題であり、泉

の歴史はムラの歴史であった。泉を中心とした生活は、つい先頃までそこかしこに見られた姿であった。竜神様を祀り、日々、水にたいする感謝を払い、トシの節目には新水による諸儀式で折目とした。大館地方の戦後の生活革新の諸事例の中で、日常生活に大きな影響を与えたのが、上水道、簡易水道の敷設である。施設の拡充が進み、容易に水が得られるようになる。人びとの心から水に対する意識が薄れ始めるという皮肉な結果を招くようになった。

大館地方の泉を網羅することはきわめて困難なことであるが、市内各地域に点在する泉を訪ねながら、地域とのかかわりあいや、その歴史の掘り起しを行ってみるとは、それぞれの地域史を知る大きな手掛りの一つになるであろう。一年にわたって泉を訪ねてみたいと思うが、我々の力の及ばない点については、興味ある方々によって補完していただきたいと考える。

(市役所・史跡探訪会)

図書館

コーナー

～新着図書～

「ああ月桂冠に涙」

(孫基禎著 講談社)

1926年のベルリン五輪で金メダルを獲得したマラソン選手の自伝。日本植民地下の貧困と差別に耐え、孫基禎はマラソン世界制覇を目指し、ついに頂点に立つ。しかし、彼を待ち受けていたのは、意外にも挫折感だけであったという。メイン・ポールに掲揚されたのは自国の旗ではなく、日章旗だったのである。亡国民の悲哀と民族の誇りとがたたきつけるように綴られている。

＜一般書＞

- ◇ヴェニス商人の資本論 (岩井克人著)
- ◇アイヌ、いま (西浦宏己著)
- ◇踊る地平線 (室謙二著)
- ◇柔らかな個人主義の誕生 (山崎正和著)
- ◇物語・日本の占領 (津野海太郎著)
- ◇うまい魚が食べたい (橋本憲一著)
- ◇青桐 (木崎さと子著)
- ◇落語風俗帳 (関山和夫著)
- ◇「お葬式」日記 (伊丹十三著) ほか

＜児童書＞

- ◇などとふしぎ・世界の遺跡 (集英社刊)
- ◇日本の子どもの詩 (日本作文の会編) ほか

＜5月の休館日＞

3日、5日、6日、19日、23日



われらサークル仲間

釈迦内健康教室

釈迦内体育館を会場に毎週土曜日午前十時から釈迦内健康教室が開かれています。この教室は、昭和五十七年、日ごろ外に出て体を動かすことの少ない主婦たちを対象に運動不足の解消と、親睦を図る目的で釈迦内公民館が主催したものでした。

№10

同教室では、柔軟体操などを取り入れたリズム体操のほか、バドミントンとバレーボールを組み合わせた新しいスポーツ、インディアカを毎回行っています。

会員の中には、インディアカだけが好きで、毎回インディアカの始まる十一時ころから参加するという人もいるそうで、技術的にもかなりのレベル(?)までできているとか。ある会員は、「インディアカは、バレーボールよりもルールも技術も簡単で、だれにでもすぐにできるゲームだし、それに珍プレー、好プレーで笑いが絶えないので、ストレスの解消にもなりとても楽しい」と話します。

現在の会員数は二十人。講師の船木和子さんを中心にチームワークの良さが自慢ですが、いっしょに楽しく健康づくりをしたいという方なら誰でもすぐに入会できます。入会希望の方は、釈迦内公民館(☎4812813)か、例会日に直接釈迦内体育館をのぞいてみてください。

全県中学総体採用ポスター決まる

先に募集していた全県中学総体(当市を主会場に7月26日から開催)のポスター3点が決まりました。中学の部の入選作品は今月中にも全県各所に掲示されるほか一般の部入選作、中学の部佳作の両作品も、市内の各所に掲示されます。

- ＜一般の部＞ 入選 木村伸さん(24歳)
- ＜中学の部＞ 入選・高田美保子さん(東中3年) 佳作・村田真紀子さん(東中3年)



木村さんの作品



高田さんの作品